

2013年

2月 25日
月曜日

使徒2:1~21 五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いてくるような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現われて、ひとりひとりの上にとどまった。(1~3)

ワンネス (Oneness) の きせき

聖アウグスティヌスは「誤った道で走るより、正しい道をはって行くほうが良い」と話しました。神様を離れた世の人は、成功と幸せのために熱心に走って行くのですが、その道は神様を離れた道で、まことの幸せもありません。しかし、私たちは神様に会って、イエス様とともに世界福音化に向かって走って行く道歩いています。答えが少しは遅れるように見えても、保証された祝福と答えがある道です。

この道を歩く私たちは、ひとつだけ記憶すれば良いのです。ワンネスです。神様はワンネスになる神様の子どもに奇跡を起こして下さいます。レムナントがワンネスになれないように邪魔したり、他のレムナントを締め出すことを神様はとてもきらわれます。私のあせる考えと先入観、欲を捨てて、神様の時刻表を見上げながらワンネスを考えてください。そのとき、神様は紅海が分かれるように、エリコの城壁が崩れるように、大きい答えをくださるでしょう。ワンネスは遅いようでも、最もはやい道なのです。

●ワンネス (Oneness) : 「ひとつになること」を意味する英語の単語です。

3Today

きょうのみことば

イザヤ25

いちにち1箇所のみことばをよみましょう!

きょうのいのり

きょうの でんどう

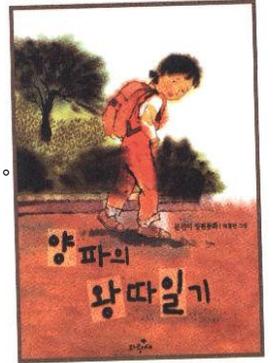
でいこははかにせいじをたべ
チェックしよう

2012. 10. 30 (ミッションホーム訓練メッセージ)

・・・「ヤン派のいじめ日記」を読んで・・・

この話を読んだとき、私はヤン派の子どもたちと同じ4年生でした。私たちのクラスの子どもたちは、なががいい友だちだけで集まっていっしょに遊んでいるようでしたが、特別なグループのようなものではありませんでした。この本では、ヤン派というグループが出てきますが、そこでミフィという子が目を引きました。楽しくて、独特な子のようなので、私もミフィが好きになりました。しかし、その心は長く続きませんでした。

チョンファがヤン派に入っていたときから、ミフィが友だちにうそを言うような、よくない性格だとわかったからです。ミフィは、キョンソンを自分の思いでいじめはじめます。しかし、キョンソンは、いじめられてもよく過ごしたので、おこったミフィは、キョンソンに対してもっと憎むようになります。ミフィよりもっといやだと思った人は、ヤン派の子どもたちでした。キョンソンがきらいな人はミフィしかいなかったのに、ヤン派の子どもたちとチョンファは、どうしてミフィのことにばに近づいたのでしょうか。クラスの友だちがいじめられているのに、過ぎていく風のようにじっとしていた子どもたち・・・もし私なら、ミフィのためにも、キョンソンのためにも私が出ていこう。最後に、チョンファがヤン派に入りたがいに字で表現したことは、そして、もう二度とそのようなにしないと誓った誓いを、まだいきいきと思ひ出します。暴力の被害者になっても、静かにいるような印象が深かったのです。被害者は、突然、自分をめだす加害者にうらたえるしかないので、自分と遊んでいる友だちに簡単に近づくことができないのです。この話は、単純な本一冊として記憶されるでしょうが、いじめ日記は、全国の学校の子どもたちの反省文ではないかと思ひます。



クミ・イエグアン教会 シム・ミジン

どくしょ
かんそうぶん

神様と私がワンネスになって、神様の人とワンネスになると、驚く奇跡がなされると信じます。教会と家庭で神様のみことばをにぎってともに祈る共同体の祝福を味わわせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



2013年

2月 26日
火曜日

使徒2:1 五旬節の日になって、みなが一所に集まっていた。

かんしゃは さいこうの くすり

タルムードに「まことに賢い者はすべての場合で学ぶ人で、まことに強い者は自分を節制することを知っている人で、まことの金持ちは自分が持っていることで感謝することを知っている人だ」ということばがあります。感謝することを知っている人が、最も大金持ちである反面、いくらたくさん持っていて、感謝しないで不平を言う人は貧しい人なのです。「地球病棟」ということばができるほど、この時代の人は感謝を失って、心と精神が病気になることがあります。それで、病気になった考えと環境、からだ、たましいを健康に治療しなければなりません。その出発が「感謝」なのです。肉体の病気はお医者さんがなおせますが、心の病気は、ただ神様だけがなおすことができます。感謝する心を持って定刻祈りの中に入ってみましょう。パウロは福音を伝えて血だらけになって監獄に捕らえられても、すべてのことについて感謝しなさいと言いました。とうてい感謝できない状況で感謝するのが、救われた者の特徴です。定刻礼拝で感謝することを発見するとき、私の心とたましいがいやされて、健康になります。神様に向かった感謝があふれ出る信仰のレムナントになりましょう。

3 Today

きょうのみことば

イザヤ26

いかに、1しやうのみさまのあはれを（イサ）

きょうのいのり

きょうの でんどう

でいこくはんにせむらうを チェックしよう

キム・ナンハぼくしせんせいと ともに

もやもや なやみを はなそう

なぜ人は

もんくを言うのですか？
ナ・ハナ | セゲロ教会

神様がくださった夢を持ってエジプトの総理になったヨセフを知っているでしょう。

兄たちがヨセフを奴隷商人に売ったときも、環境が良くないときも、いましばらくの間、自分の思うとおりになされないときも、恨むことがあるときも、ヨセフは環境にだまされたり、他の人のことを言い訳にしませんでした。ヨセフは、兄たちとは違って、事件を見る目と考えが違いました。それだけでなく、必ずずる結果を知って、確信の中にいました。神様が私とともにおられると、このことを分かったら、もんくを言わないでしょう。もんくや不平不満を言う人の大部分は、力がなからず、レムナントのまわりにそのような友だちがいるならば、その友だちのために祈ってあげなければなりません。

イエス・キリストを通して神様に会って、まことの幸せを味わえば、絶対にもんくを言うことはありません。

パウロのように、感謝があふれる霊的な金持ちにならせてください。感謝する心を持って、定刻祈りの祝福を味わい、私のたましいと心、考えが健康になりますように。イエス・キリストのお名前によっておのりします。アーメン



2013年

2月 27日
水曜日

I サムエル 16:23 神の霊がサウルに臨むたびに、ダビデは立琴を手に取って、ひき、サウルは元気を回復して、良くなり、わざわいの霊は彼から離れた。

おんがくの ちから

耳に聞こえる数多くの音の中で、音楽は多くの部分を占めます。そして、私たちに大きく、たくさんの影響をおよぼします。良い音楽をたくさん聞くと、悪い音楽をたくさん聞くと、どんどんその音楽により変わります。それで、良い音楽をたくさん聞いて歌うことが重要です。ダビデは聖霊で満たされるほど、音楽を味わいました。ダビデが賛美を演奏するとき、悪霊が離れました。悪い音楽は人を病気にさせて、悪霊に心を奪われるようにさせることもあります。音楽が人におよぼす影響は、これほど大きいのです。

レムナントは、どんな音楽をたくさん聞いて歌っていますか。特に賛美をどのようにしていますか。賛美の歌詞の意味が何か考えないで、ただたんに歌っていませんか。歌詞の意味を考えながら、心をつくして賛美すれば、神様が与えられる力を得て、病気がいやされたり、悪霊が離れたりもします。今から正しく賛美すれば、自然に祈りが成り立ちます。今、賛美一曲を選んで歌詞をよく考えながら心をつくして歌ってみましょう。

3Today

きょうのみことば

□ イザヤ27

いばら「しやう」がらさの
あにらば「あにら」

きょうのいのり

きょうの でんどう

ていにくれはにせにうら
ちんくしよ

2012. 10. 30 (専門の働きメッセージ)

なやめるひとびと

さんびもくそう2

かんにちさんびか91ばん

1. なやめるひとびと みなをききなほ
 2. みなをばこころの まもりとなして
 3. すくいぬイエスの かいななかに
 4. よをさりてあまつ くにゆくとき

よろこびのものは イエスなりとしらん
 こころむるものに ちをえよかし
 やすろうにまさる さちはよになし
 たからかにたたえん 主のきよきを

主なる イエスを うけいれまつれ

主なる イエスを - こころのなかに



この讃美歌は、アメリカバプテスト教会の賛美作家であるリディア・バクスターが作詞した曲です。バクスター女史は、からだが弱くて一生をほとんど病床で過ごしました。友だちが、病氣なのに、どうしてそんなに明るいかと尋ねたとき、バクスター女史は「私は特別な鎧を着ているの。私はイエスの御名を持っているから。試みる者は私をゆうつつにさせて、がっかりさせようとするば、イエスの御名を呼ぶの。そうすれば、試みる者は私に追ってくる事ができないのよ」と答えました。イエスの御名がレムナントに唯一な力で、武器であり希望となるように切に祈ります。

文・子ども賛美作家チェ・スジン 講師

神様、心をつくして賛美したいです。私が賛美するとき、聖霊で働いて力をください、いやして、悪霊をしりぞけてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



2013年

2月 28日 木曜日

ルカ 16:1~31 イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、人の前で自分を正しいとする者です。しかし神は、あなたがたの心をご存じです。人間の間であがめられるものは、神の前で憎まれ、きらわれます。律法と預言者はヨハネまでです。それ以来、神の国の福音は宣べ伝えられ、だれもかれも、無理にでも、これに入ろうとしています。(15~16)

まめを うえたので まめ

「豆を植えたのに豆が出て、小豆を植えたので小豆が出る」ということわざが、韓国にはあります。根本により、そこに合う結果が出てくるという意味です。このように、たましいの中に何を植えるのかによって、実が変わります。

ある学生が友だちといっしょにゲームセンターで遊びました。とてもおもしろくて、友だちとまた行きました。その次には、ひとりで遊び始めたのです。そのあと、自分の意志と関係なく、ゲームが目の前に浮かんで勉強ができない状況になってしまいました。ゲームがその学生の考えに入ってしまうと、後にはたましいに植わるようになったのです。

レムナントのたましいに何を植えなければならないのでしょうか。神様を植えなければなりません。普段の時に今日のみことばと祈り、伝道に挑戦するのも、神様を体験するためです。「ああ、神様がされたのだなあ!神様が答えられたのだね!」という体験を一度でもしてることが重要です。結局、福音が考えと心に含まれて、後にはたましいに根をおろします。そのときから、悪い習慣と霊的問題もいやされて、知恵の門、伝道の門など、すべての門が開かれます。

3Today

きょうのみことば

イザヤ28

いのちを 11月号 ひみよの
みことばを よろし!

きょうの いのり

きょうの でんどう



ていこくせいせい せいこうしたる
チェックしよう

2011.11.03 (核心訓練メッセージ)

めいろ

私のたましいの中になにの豆が植わっているかな。その豆を植えるために、どんなことを実践したらよいのかな。みことばを黙想して、心の中に植える豆にしがたっていきましょう。



2013年

3月

1日
金曜日

創世記11:1~9 それゆえ、その町の名はバベルと呼ばれた。主が全地のことばをそこで混乱させたから、すなわち、主が人々をそこから地の全面に散らしたからである。(9)

そつうを あじわう はじまり

他の国の侵略を受けて国を奪われて、支配されるようになれば、ちょっと苦しいという程度ではありません。苦しみから抜け出そうと、必死になってもがくほど、もっと大きい苦しみを味わいます。すべての人は、神様のみことばに不従順になって神様を離れて、罪人になりました。霊的な孤児となった人をサタンが支配するようになりました。ここから抜け出そうと宗教生活をしたり、深い瞑想におちいれば、もっと大きい苦しみを味わいます。罪と死の権威、そして、サタンの権威を完全に打ちくだされたイエス・キリスト！この方が私たちの救い主です。そして、救われたレムナントが神様と疎通するよう助けてくださいます！

イエス・キリストを黙想して祈りながら、神様と疎通してみましよう。小学生の時期は、重要な基礎を学ぶ時期です。それで、勉強とも疎通しなければなりません。そして、私の家族、教会と学校で会う人も美しい疎通を成しとげなければなりません。新しい学年を準備しながら疎通のために今、祈りましよう。

3Today

きょうのいのり

きょうの でんどう

きょうのみことば

イザヤ29

いのり: 1しやう かみさまの
心と話を 5つし

てにくれぬがに せいにうしを
チェックしよう

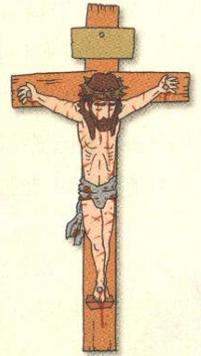
2012. 11. 04 (インマヌエル教会聖日1部)

せいく100かしよをおぼえよう(18)

罪と死の権威、サタンの権威を完全に踏み砕かれたイエス・キリストを信じていますか。神様に会う道であり、私たちのいのちを救われるまことの真理であるイエス様が私の中におられます。聖書箇所を暗唱して、私の主人であるイエス様と疎通しましょう！

ヨハネ14章6節 イエスは彼に言われた。

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」



★あいているところの単語を探してひもで結びましよう。

14章6節

は彼に言われた。「わたしが であり、 であり なのです。わたしを通してでなければ、だれひとり に来ることはありません。」

いのち

道

ヨハネ

イエス

真理

父のみもと

毎日、神様と疎通するレムナント、まわりの人と美しく疎通するレムナント、勉強ともよく疎通できるレムナントになりたいです。新しい学年、新しい学期に伝道者の生活ができるように助けてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



2013年

3月2日
土曜日

おはなし もくそう

きいろいて! むらさきのて!

「おいしい!」

シンジくんの家族は、いつも土曜日に買い物をしに行きます。パパが毎週一回ずつそれぞれが食べたい食べ物、欲しいものを買ってくれます。今日は、家の近くのマーケットに買い物をしに行きました。パパが食べたいくだものをひとつずつ選んだら買ってくれと言ったので、もっと楽しくなりました。

シンジは冬になると喜んで食べるミカンを選びました。ぶどうが好きなシンジの妹は、ぶどうを選びました。ママは、柿をひとつ選びました。家族みんなでおいしくくだものをかかえて家に帰ってきたのでした。

家に帰ったシンジの家族は、居間に丸く集まって座って、なかよくくだものを食べ始めました。ところが...

「ママ! 手がむらさきに変わった!」

ぶどうを食べていた妹が、突然、泣きわめきました。妹の手はむらさき色のシミがついていました。シンジがとまどいながら自分の手をよく見てもみたら、シンジの手はきいろく染まっていた。シンジは、手がきいろや、むらさきに染まったのはくだものせいだという

3Today

きょうのいのり

きょうのてんとう

きょうのみことば

イザヤ30

いぬぢや! (ししやう、かみさまのみことばをよもう!)

ことがわかって、にっこり笑いました。

「泣かないで、見てごらん。ぼくの手はきいろだよ」

シンジが、きいろくかわった手を見せてあげたので、妹は泣くのをやめました。

「こっちを見て、ママの手はだいたい色よ」

柿の皮をむいていたママの手も柿がそまってだいたい色になっていました。この姿を見たシンジと妹は、ワハハと笑い始めました。

好きなくだものをたくさん食べれば、手がきいろや、むらさきのくだもの色に変わります。私の心も神様のみことばをたくさん食べれば、不信仰が消えて、イエス・キリストの光に変わるでしょう!

